

STAGE+を楽しむ(116)(HP 収載)
—スメタナの交響詩《わが祖国》他—

1. 始めに

前報(115)に引き続き、STAGE+のスメタナの交響詩《わが祖国》他の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、スメタナの交響詩《わが祖国》他の演奏を選びました。

ラファエル・クーベリック (指揮)

ジェイムズ・レヴァイン (指揮)

ベドルジーハ・スメタナ 連作交響詩《わが祖国》

ボストン交響楽団

ベドルジーハ・スメタナ 交響詩《リチャード三世》

バイエルン放送交響楽団

ベドルジーハ・スメタナ 交響詩《ワレンシュタインの陣営》 作品 14

バイエルン放送交響楽団

ベドルジーハ・スメタナ 交響詩《ハーコン・ヤルル》 作品 16

バイエルン放送交響楽団

ベドルジーハ・スメタナ プラハの謝肉祭

バイエルン放送交響楽団 05:39

ベドルジーハ・スメタナ 歌劇《売られた花嫁》序曲 (Live)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

ベドルジーハ・スメタナ 歌劇《売られた花嫁》ポルカ

(1986年ライブ・アット・ムジークフェライン大ホール、ウィーン)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 04:58

ベドルジーハ・スメタナ 歌劇《売られた花嫁》フリアント

(1986年ライブ・アット・ムジークフェライン大ホール、ウィーン)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 02:06

ベドルジーハ・スメタナ 歌劇《売られた花嫁》道化師の踊り

(1986年ライブ・アット・ムジークフェライン大ホール、ウィーン)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 06:09



なお、Universal Music の MQA-CD UCCG--40085 でも同一の収録曲がありますので、比較試聴してみます。

3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PC の 2 本の LAN ケーブルに LAN アキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

STAGE+では、収録曲のうち、クーベリック指揮ボストン交響楽団によるスメタナの交響詩《わが祖国》を試聴しました。2 枚の CD に一括編集して収められたもので、音はあまり良くなく、ごく普通の CD を聴くような印象です。それでも、6 曲のそれぞれの抒情的なパートや盛り上がりを見せるパートについて一定のクオリティは確保できています。

MQA-CD では、こちらの方も MQA らしさはそれほどでもなく、ごく普通の CD を聴くような印象で STAGE+とさして変わりはありません。

4. まとめ

スピーカーアキュライザーや LAN アキュライザーと Crstal EpL の効果により、STAGE+の配信と MQA-CD とともにグレードがあがっていますが、元の録音のグレードの問題なのか、とりたてて言うほどのこともなく、STAGE+の配信も MQA-CD も格別の差はありません。

以上